

2021年度 日本工学院専門学校											
I Tスペシャリスト科											
システムリサーチ											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	未定			実務経験		職種					
授業概要											
この科目を受講する学生は、ビジネス社会に与える影響を鑑みて、未来への提言力を養うことができる。21世紀はI T 化、グローバル化が進展し、情報が瞬時に共有化され、多様な価値観がぶつかり合い融合する時代である。その中で、わが国の企業は、創造的な製品、サービスを提供することでグローバルに展開される競争を勝ち抜いていかなければならない。急速なI T 化、グローバル化によりどのようなサービスやシステムが生み出されているのか理解し、創造的な製品、サービスを生み出す能力を身に付ける。											
到達目標											
この科目では、学生がICTシステムに関する動向をリサーチし、ビジネス社会に与える影響を鑑みて、未来への提言力を養成する。未来のICT・メディア市場、デバイス市場、ネットワーク市場、コンテンツ配信市場、プラットフォーム市場、xTech市場などの各ICTに関わる市場においてどのようなサービスが生み出されているのか理解できることを目標にしている。昨今、ビジネスの世界では「デジタル変革」という言葉を見ない日はない。いよいよ、あらゆる活動がネットに接続している前提、そして、ソフトウェアで書かれている前提になっていることの証左である。											
授業方法											
私達の身の回りにあるICT関連のシステムについて調査・研究し、発表することによって相互理解を深める。それらをもとに、将来期待されるICTシステムについて提言を加える。調査・研究の際は、全般的なトレンド情報収集の考え方を整理の仕方、代表的な参考情報源（Webサイト・文献）を紹介する。											
成績評価方法											
試験・課題 70％ 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 0％ レポート 20％ 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 0％ 平常点 10％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、普段の授業態度や提出課題を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。自分でも、情報を収集し、最新のICTシステムに関する動向について調べること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	2023年ICT・メディア市場(1) 2023年ICT・メディア市場を理解できる /宇宙ビジネス/シェアリングエコノミー										
第2回	2023年ICT・メディア市場(2) 2023年ICT・メディア市場を理解できる /APIエコノミー/パーソナルデータ										
第3回	デバイス市場(1) デバイス市場を理解できる /携帯電話端末/4Kテレビ										
第4回	デバイス市場(2) デバイス市場を理解できる /VR/音声エージェント端末										
第5回	デバイス市場(3) デバイス市場を理解できる /ドローン/3Dプリンター										
第6回	ネットワーク市場 ネットワーク市場を理解できる /固定ブロードバンド回線/モバイル・ワイヤレスブロードバンド										

2021年度 日本工学院専門学校	
I T スペシャリスト科	
システムリサーチ	
第7回	コンテンツ配信市場(1) コンテンツ市場を理解できる /ゲーム/動画配信
第8回	コンテンツ配信市場(2) コンテンツ市場を理解できる /音楽配信/放送・メディア
第9回	プラットフォーム市場(1) プラットフォーム市場を理解できる /クラウドサービス/情報セキュリティ
第10回	プラットフォーム市場(2) プラットフォーム市場を理解できる /クラウドサービス/IoT
第11回	プラットフォーム市場(3) プラットフォーム市場を理解できる /ブロックチェーン/RPA
第12回	xTech市場(1) xTech市場を理解できる /金融/小売
第13回	xTech市場(2) xTech市場を理解できる /広告/食品
第14回	xTech市場(3) xTech市場を理解できる /教育/スポーツ
第15回	xTech市場(4) xTech市場を理解できる /人事/農業/ヘルスケア